



市民いきいき健康講座を 開催しています

以前は「看護師が行ういきいき健康講座」という名称でしたが、今年から「市民いきいき健康講座」に変更しました。看護師だけでなく歯科衛生士など様々な職種の医療スタッフも講師となり、皆さんがいきいきと健康的な毎日を送ることができるよう、病気に関する知識や日々の暮らしのなかで実践できる予防法などを紹介します。

市民いきいき健康講座は10月から平成29年1月までに4回開催します。第1回は、10月14日に開催し、感染管理を専門とする看護師が講師となり、インフルエンザやノロウィルスなどの感染症の特徴や予防法をお伝えしました。第2回は11月11日に開催し、講師の歯科衛生士と会場に集まった皆さんで、食べ物をかんだり、飲み込んだりする力をつける、えん下体操などを行いました。

今後の開催日程は右のとおりです。参加費無料で予約不要です。1回だけの参加もできます。是非ご参加ください。



△10月14日の講座の様子

日程

| とき | 内容 |
|-------------------|-----------------------|
| 12月9日(金) | 患者数530万人！！COPDってなんだ！？ |
| 平成29年 1月13日(金) | やってみよう！認知症予防体操 |

※時間は11時10分～12時です。

ところ 市民病院

碧南の歴史へのいざない



問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

No.31 人物小伝 清沢満之

清沢満之は明治時代の宗教哲学者です。大浜西方寺の僧侶で、真宗大学（現大谷大学）の初代学長になりました。晩年、身にふりかかる出来事を、あるがまま受け入れる「絶対他力」の信念を体得した人で、明治36年（1903年）6月6日、満39歳でその短い生涯を閉じました。

尾張藩の下級武士である徳永永則と熱心な浄土真宗信者だったタキとのあいだに満之助（後の清沢満之）は生まれました。神童と言われた満之は、得度（僧侶となるための出家の儀式）したのちに母の勧めで、仏教の学校である東本願寺育英教校に授業料を免除され、入学します。その後、東京大学文学部哲学科を首席で卒業し、大学院まで進み、宗教哲学を専攻しました。宗教が学者の道か悩みましたが、東本願寺への報恩と求道心のために、宗教の道に進みました。

卒業後、25歳の若さで京都府尋常中学校の校長に赴任し、ほぼ同時期に大浜西方寺住職の娘やすと結婚して何不自由のない生活を2年ほど送りました。しかし、その満たされた生活に疑問を持った満之は、すべてを捨てて行者（修行）生活に入りました。

極限の生活を送りながら、満之は仏教本来のあるべき姿を見つめ直します。しかし、結核を発症し、宗門改革運動の失敗とご折、家族の死を経験し、絶対他力の精神にたどり着きました。「自己とは何ぞや 是人生の根本的問題なり」を求める満之の仏教信念は、多くの人に影響を与え、毎年命日には、彼をしのぶ「臘扇忌」が西方寺などで行われています。



△清沢満之（西方寺所蔵）